

002

SEP
2013

とわだじかん

TOWADA TIMES

ArtsTowada



八甲田の空行く雲や奥入瀬を流れる水のように気ままに成り行き任せの旅をする

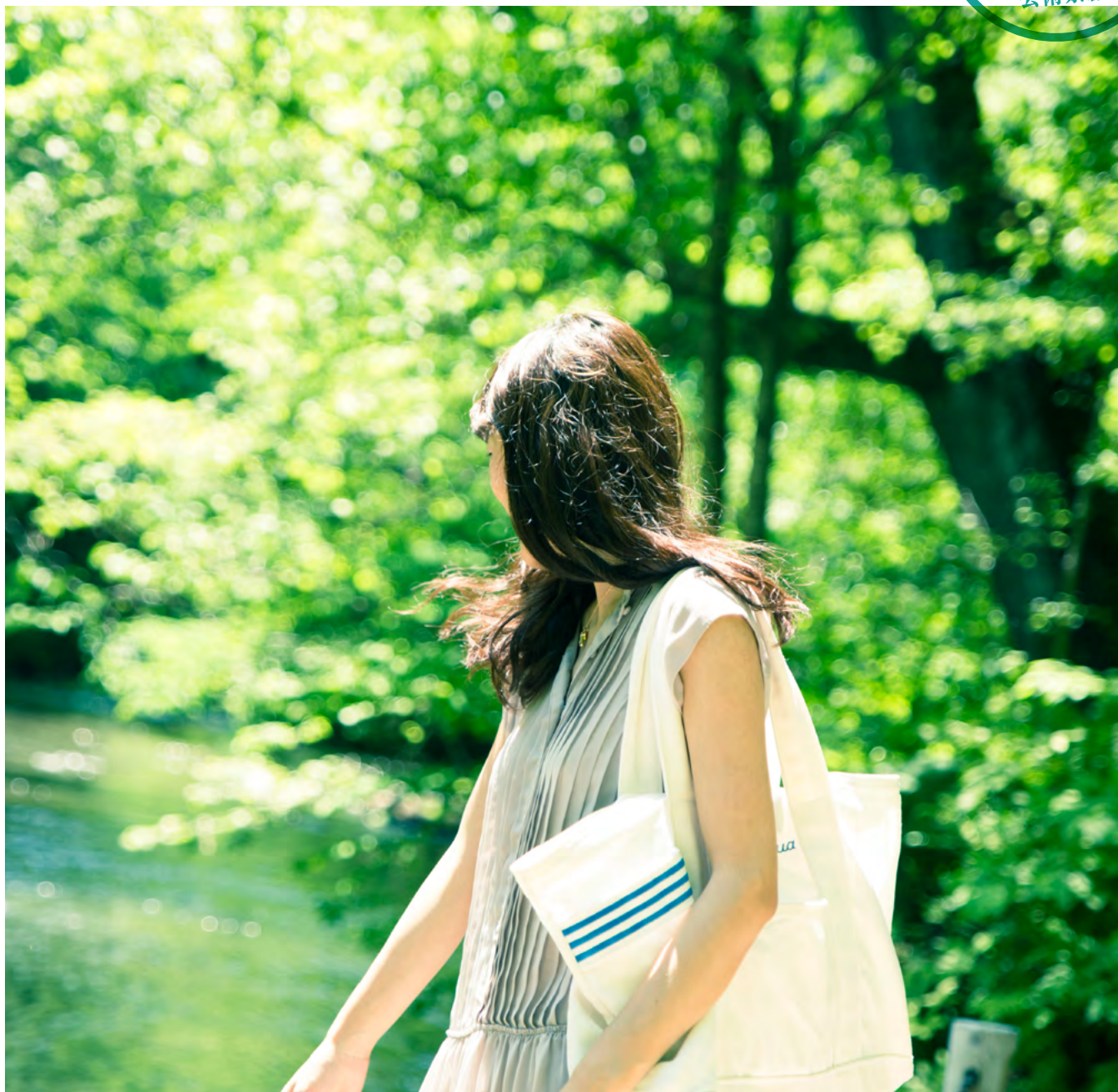


photo 小山田 邦哉

とわだじかんは「美術館を見学後、十和田を旅する」ための情報紙です。

01
INFORMATION

十和田奥入瀬芸術祭
会場紹介

02
FOOD
-Oirase+Lake Towada-
ここ・これ ごはん
奥入瀬・十和田湖編

03
MAP -Oirase-
ようこそ、
大自然の中へ

04
TRIP -Oirase-
奥入瀬を楽しむ

05
MAP&TRIP
-Lake Towada-
十和田湖を歩こう

06
**ACCESS/
INTERVIEW**
交通案内／
常設展示作家シリーズ②
「山本 修路」

豊かな自然を有する奥入瀬・十和田湖を舞台に「時」をテーマにした十和田奥入瀬芸術祭が開催されます。様々な場所にある展覧会場を巡る際、アートはもちろん、多様な自然にも触れることができますでしょう。

そして、奥入瀬・十和田湖の魅力的なお店や人々との出会いは、きっと素敵な思い出になるのでは？「とわだじかん」が、「時」に触れる旅のお役に立てれば、光栄です。

十和田市現代美術館 コンシェルジュ

十和田奥入瀬芸術祭 SURVIVE 2013.9.21 sat – 11.24 sun

十和田市現代美術館



photo by Michiko Wakaki

【展示アーティスト】
ラヴナル・キャルトンソン、宮永 愛子、武田 慎平、マーカス・コーツ、柴田 健治

常設展・企画展入場料 バスポート2,000円が必要になります。※高校生以下無料、団体(20名以上)200円引き **住所** 青森県十和田市西二番町10-9 **TEL** 0176-20-1127 **時間** 9:00-17:00 (最終入館16:30) **休** 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日) **備考** コインロッカー、駐車場あり

旧笠石家住宅(国指定重要文化財)と十和田湖民俗資料館

十和田観光電鉄バス「十和田市～焼山線」で約30分 片貝沢下車、徒歩約20分



【参加アーティスト】
屋内:志村 信裕／屋外:山本 修路

江戸時代後期に建てられた、この地域の典型的な農家建築です。寄棟造り茅葺の直家で、平面はひろま型にとられ、内部は大広間のようになっています。南から「じょい」、「だいどころ」、「まや」の3つに分かれていて、天井が無く、板敷きで壁も板壁となっているのが特徴です。民俗資料館では、貴重な生活用具に触れることができます。

企画展入場料 無料 **民俗資料館観覧料** 〔一般・大学生〕100円 〔小中高校生〕50円 ※十和田市民は無料 **住所** 青森県十和田市大字奥瀬字栃久保80 **TEL** 0176-74-2547 **時間** 〔4～10月〕9:00-16:30 〔11～3月〕9:00-16:00 **休** 火曜日、年末年始(12/29～1/3) **備考** 駐車場あり

水産保養所(旧湯治の宿おいらせ)

JRバス東北(おいらせ号)で約45分 十和田湖温泉郷バス停下車、徒歩約15分 十和田観光電鉄バス「十和田市～焼山線」で約50分 桂月橋バス停下車、徒歩約10分



photo 小山西 邦哉

【展示アーティスト】
梅田 哲也／コンタクトゴンゾ／志賀 理江子 ※三者のコラボレーションを展示。

昭和48年に保養施設として建てられ、その後何度か所有者が代わり数年前から遊休施設となっていた建物を、3組のアーティストが触れ、掃除をし、要素を削ぎ落として行くことで構造を浮かび上がらせ、周囲の環境を取り込んで丁寧に変容させた圧倒的な空間です。

企画展入場料 バスポート2,000円が必要となります。※高校生以下無料、団体(20名以上)200円引き **住所** 青森県十和田市大字法量字焼山36 **TEL** なし **時間** 10:00-16:00 **休** 月曜日休場(月曜日が祝日の場合はその翌日) **備考** 駐車場あり

星野リゾート 奥入瀬溪流ホテル

JRバス東北(おいらせ号)で約50分 焼山バス停下車、徒歩約2分 十和田観光電鉄バス「十和田市～焼山線」で約55分 焼山バス停下車、徒歩約2分



【参加アーティスト】
屋内:岡本 太郎／Arts Cube 奥入瀬:志村 信裕／屋外:山本 修路

奥入瀬の大自然が演出する非日常空間を満喫できる、奥入瀬溪流のほとりに唯一建つホテルです。

奥入瀬 Arts Cube Cafe

美術館とホテルがコラボし、アートと自然が融合したカフェ。まるで森の中にいるような雰囲気でお食べられる「パスタランチ」はおすすめ。本棚に並んだアートブックや小説などは自由に手にとってお読みいただけます。本を旅する時間もお楽しみください。

Arts Cube 奥入瀬

美術館の展示室をキューブにみだてた展示空間をホテル内に設け、広域的な魅力の発信、そしてアートと地域の新しい関わりを模索しています。「Arts Cube」と題されるこのプロジェクトは、若手アーティストの育成も視野に入れ、継続的な取り組みとして行っています。

企画展入場料 無料 **住所** 青森県十和田市大字奥瀬字栃久保231 **TEL** 0176-74-2121 **時間** 9:00-21:00 **休** 会期中無休 **備考** 駐車場あり

溪流の駅 おいらせ

JRバス東北(おいらせ号)で約50分 焼山バス停下車、徒歩すぐ 十和田観光電鉄バス「十和田市～焼山線」で約55分 焼山バス停下車、徒歩すぐ



【参加アーティスト】高山 明(PortB)

奥入瀬溪流の玄関口にある観光施設です。新鮮な野菜や果物、それらを加工した特産品やお土産品などが販売されている「とれたて市」があります。また、「奥入瀬ガーデン」は十和田産品中心の野菜を使用した料理をビュッフェスタイルでお食べられるレストランです。「農かふえ」のりんごソフトクリームもおすすめです。

企画展入場料 無料 **住所** 青森県十和田市大字奥瀬字栃久保11-12 **TEL** 0176-74-1121 **時間** 9:00-16:30 **営業時間** 〔とれたて市〕8:00-17:00 〔奥入瀬ガーデン〕11:00-15:00 〔農カフェ〕9:00-16:00 **休** 会期中無休 **備考** 駐車場あり

十和田湖遊覧船



photo 小山西 邦哉

十和田湖遊覧船で十和田湖クルーズができます。

Aコース

子ノ口←→休屋をむすぶ(所要50分)

Bコース

休屋発着で御倉半島・中山半島を巡る(所要60分)十和田神社占場に立ち寄る便もあり

お問い合わせ 十和田湖遊覧船運航事務所 **TEL** 0176-75-2909

<http://www.lakeship-towada.co.jp>

十和田湖遊覧船で芸術祭作品も楽しめます。

子ノ口案内所

JRバス東北(おいらせ号／みずうみ号)で約1時間20分 子の口バス停下車 徒歩すぐ

【展示アーティスト】山本 修路

時間 8:00-16:30 **休** 11月10日まで無休。11月11日以降閉場 **住所** 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔子ノ口4 **TEL** 0176-75-2408 **備考** 駐車場あり※無料(約20台)

十和田湖遊覧船ターミナル(休屋)

JRバス東北(おいらせ号／みずうみ号)で約1時間35分 十和田湖バス停下車、徒歩約3分

【展示アーティスト】船内:mamoru

特別遊覧船について:十和田湖遊覧船ターミナル(休屋)のみ発着。所要約60分。**入場料** 芸術祭バスポート〔※1〕と乗船券〔※2〕が必要となります。※乗船券は、十和田湖遊覧船ターミナルのみの販売になります。〔※1〕2,000円※高校生以下無料、団体(20名以上)200円引き 〔※2〕大人1,000円、小人500円／中学生以上が大人料金 **住所** 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 **TEL** 0176-75-2909 **時間** 会期中の土日1便ずつ運航 ※9月21日、10月26日・27日は運休。運航スケジュールは芸術祭サイト(<http://artstowadaoirase.jp>)にてご確認ください。 **備考** 駐車場あり ※休屋南駐車場:有料

※各会場へのバスの所要時間は、十和田市現代美術館から出発したものです。

今回、「奥入瀬のことならなんでもおまかせ!」の

奥入瀬観光コンシェルジュのみなさんにも協力していただきました。

マップはp4・5とP7を参照

奥入瀬編

十和田は青森県内有数の野菜の生産地です。奥入瀬ガーリックポークや十和田湖和牛など、おいしい食材の宝庫です。

1 食堂 上高地

十和田湖温泉郷バス停から徒歩約3分



地元人も利用する大衆食堂で、ご当地B級グルメ「十和田バラ焼き」1,000円もお食べられるお店です。上質のバラ肉と一緒に玉ねぎをあめ色になるまでゆっくり炒め、生卵をつけていただくのが焼山流。寒い日には、「せんべい鍋」700円(ライス付800円)もおすすめてです。

住所 青森県十和田市大字法量字焼山64-177

時間 10:00-20:00 **休** 不定休

TEL 0176-74-2418 **駐車場** あり

2 ドライブイン 桂月

十和田湖温泉郷入口バス停からすぐ



朝7時から営業しているので、奥入瀬や^{つた}鷲を早朝散歩した後の朝食に名物「山菜ラーメン」750円はいかがでしょう。地元で採れた山菜があんかけとなって贅沢に盛り付けられた逸品です。ソフトクリーム250円もあるので、ドライブ途中の休憩などで立ち寄ってみては。

住所 青森県十和田市大字法量字焼山64-263

時間 7:00-20:00 **休** 不定休

TEL 0176-74-2237 **駐車場** あり

十和田湖周辺編

5 民宿・食事処 根岸家

〔子ノ口エリア〕
子の口バス停から徒歩約3分



奥入瀬溪流散策の起点となる子ノ口にあり、湖畔が一番近い民宿です。安心、安全、安い、旨いがキャッチフレーズのお店で、名物の定番「ひめますの姿焼き&お刺身定食」2,300円、B級グルメ「十和田バラ焼き」1,300円、「稲庭ざるうどん」700円が人気メニューです。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔子ノ口468 **時間** 7:00-18:00 **休** 不定休 **TEL** 0176-75-2922 **駐車場** あり

6 食堂 十和田家

〔宇樽部エリア〕
宇樽部バス停から徒歩約2分



ご夫婦で30年以上、食堂を営んでいます。おすすめはひめます料理。ラーメンや定食など、リーズナブルなメニューもあり。中でも、丼に盛ったご飯の上にネギの卵とじとアツアツふわふわのひめますフライをのせた「ひめます丼」700円は、大好評です。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔宇樽部74-4 **時間** 10:00-16:00 **休** 冬期間 **TEL** 0176-75-2810 **駐車場** あり

7 お食事処 もりた(もりた観光物産)

〔休屋エリア〕
十和田湖バス停から徒歩約10分



カウンター席と小上がり席があり、肩肘張らずにくつろげるお店です。おすすめは、揚げたてサクサクの「十和田湖ひめます天ざるそば」1,200円。天ぶらはレモン塩でいただく絶品! 甘く爽やかな香りとコクが特徴の「山ぶどうラガー」650円は、自分みやげに。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 **時間** 11:00-20:00 (LO18:30) **休** 冬期間 **TEL** 0176-75-2206 **駐車場** あり

3 喫茶 ひめはうす

十和田湖温泉郷入口バス停から徒歩約3分



大きなポット型の看板が目印です。「特製カレー」はビーフかチキンかを選び、サラダもついて750円。「ナポリタン」750円はソースがよく絡み、粉チーズとの相性も抜群です。ウッディな店内にはマスターが撮影した写真展示コーナーやライブスペースもあります。

住所 青森県十和田市大字法量字焼山56-7

時間 11:30-19:00 **休** 月曜日

TEL 0176-74-2078 **駐車場** あり

4 農園キッチン ノースビレッジ

焼山バス停から徒歩約1分



県産の旬な野菜を中心としたビュッフェスタイルの農園レストラン。石釜ピザ、カレーやスープが食べ放題でお一人1,600円。また、プレート(800円・200円)を購入しての「ワンプレート・ビュッフェ」もあります。※大人1名につき未就学児2名まで無料、小学生800円。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字栃久保11-253

時間 平日11:00-15:00頃(LO14:30) 土日祝11:00-16:00頃(LO14:30) ※食材がなくなり次第、閉店 **休** 火曜日 **TEL** 0176-70-5955 **駐車場** あり

8 喫茶 憩い

〔休屋エリア〕
十和田湖バス停から徒歩約2分



遊覧船桟橋が一番近く、レトロでかわいい椅子やテーブルがあり、落ち着く雰囲気のお店です。「ハムチーズトースト」420円、「ピザ」750円などの軽食、エスプレッソやカプチーノなどのドリンクもあります。十和田湖を眺めながら、くつろぎのひとときを。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 **時間** 9:00-18:00 **休** 不定休 ※悪天候時休業の場合あり **TEL** 0176-75-2411 **駐車場** なし

9 お食事処 神田川

〔休屋エリア〕
十和田湖バス停から徒歩約10分



観光客はもちろん、地元人からも親しまれているお食事処です。人気は「十和田バラ焼き定食」1,050円や「ひめます塩焼き」840円。比内地鶏を使った「親子丼」1,365円や「釜飯丼」1,365円は絶品です。十和田湖和牛を使った料理も食べられ、食材にこだわったお店です。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 **時間** 9:00-17:00 **休** 冬期間 **TEL** 0176-75-2515 **駐車場** あり

10 お食事処 とちの茶屋

〔休屋エリア〕
十和田湖バス停から徒歩約10分



十和田湖産の天然ひめます料理や青森の南部そば、秋田の稲庭うどんが食べられるお店です。おすすめは「ひめます塩焼き定食」1,750円。十和田湖名産わかさぎのフライ、山菜小鉢などの日替わりサービスランチ(11:00-14:00)の「十和田湖づくし」980円もあります。窓際の席からは湖畔が眺められます。

住所 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 **時間** 9:30-16:00 **休** 冬期間 **TEL** 0176-75-2231 **駐車場** あり

TRIP

奥入瀬を楽しむ

芸術祭の展示会場だけで、帰ってしまうなんてもったいない。
お楽しみはこれから。
奥入瀬で、こころもからだも癒されよう。

マップはp4-5を参照

おいらせの癒しスポット

気軽に日帰り入浴できる温泉施設をご紹介します。
奥入瀬を巡り歩き疲れたら、どうぞこちらでひとやすみ。
さらりとしていて湯触りがやわらかな温泉が、
日々の疲れも優しく癒してくれます。

源泉名—猿倉温泉混合泉

泉 質—単純温泉(低張性中性高温泉)

効 能—神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり
うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、
疲労、回復、健康増進など

SPA

A

市民の家

十和田湖温泉郷バス停下車、徒歩すぐ

【料金】青森県十和田市大字法量字焼山64-164 【料金】大人300円 小人150円
※十和田市民で60歳以上の方は200円
【時間】9:00-21:00 【休】第3水曜
【TEL】0176-74-2007 【備考】駐車場あり



B

奥入瀬インフォメーション hakocco.ハコの湯(足湯)

十和田湖温泉郷バス停下車、徒歩約2分

【料金】無料 【住所】青森県十和田市大字法量字焼山64-165 十和田湖温泉スキー場 第一駐車場内 【時間】9:00-21:00
【休】年中無休 【TEL】0176-74-2700



ローカルスイーツ

C

奥入瀬ハチミツの
優しいかすてら(生カステラ)
800円



ホテル内の工房で作られて、売店で販売されているホテルオリジナルの一品。朝には売切れてしまうほどの人気商品。
カステラとプリンの2層の生地を焼き上げているので2種類の味が楽しめる商品です。

奥入瀬 森のホテル 「森の中のスイーツ工房」

十和田湖温泉郷バス停下車、徒歩約15分

【住所】十和田市大字法量字焼山36-20
【時間】[ラウンジ] 9:00-18:00 [売店] 8:00-20:00 【休】年中無休 【TEL】0176-70-5000 【備考】駐車場あり

D

こけソフトクリーム
350円



奥入瀬の苔をイメージし、抹茶パウダーとビターチョコがかけられた話題のソフトクリーム。他にも限定販売の水出しアイスコーヒーにソフトクリームがたっぷり入っている「コーヒーフロート」450円は女子に人気。秋からは喫茶メニュー「アップルパイ」300円もおすすです。※ソフトクリーム類は10月までの販売。

奥入瀬溪流館

焼山バス停下車、徒歩約3分

【住所】青森県十和田市大字奥瀬字栃久保183 【時間】9:00-16:30 【休】会期中無休
【TEL】0176-74-1233 【備考】コインロッカー、駐車場あり

体験・アクティビティ

E

奥入瀬モスボール工房



奥入瀬溪流では苔の魅力のひとつ。奥入瀬へ訪れた記念にこけ玉作りを体験してみませんか? 作業時間は30分程度です。講師は、元プロレスラーという経歴を持つ、こけ玉職人の起田高志さん。きっと楽しい思い出になるはず。※国立公園である奥入瀬溪流は植生物の採取は禁止されており、当店では園芸業者から仕入れた素材のみを使用しております。

奥入瀬溪流館

焼山バス停下車、徒歩約3分

【住所】青森県十和田市大字奥瀬字栃久保183 【料金】大人2,000円 子供1,500円
【時間】9:00-16:30 【休】火曜日 【TEL】0176-74-1233 【備考】駐車場あり

F

八甲田パノラマパーク ゴルフ場



八甲田パノラマパークゴルフ場は、十和田湖温泉スキー場の中腹にあり、八甲田連峰の山並みが広がる自然地形を活かした高原コースです。芝の上で大自然のおいしい空気をいっぱい吸いながら、雄大な八甲田のふもとでゆっくりプレーができます。

【住所】青森県十和田市大字法量字焼山64-458 【料金】[一日券] 高校生・一般500円、小中学生200円 [シーズン券] 高校生・一般11,000円、小中学生5,000円 [レンタル一式] 300円(クラブ・ボール)
【時間】[4月25日～10月15日まで] 8:00-17:30 / [10月16日から11月15日まで] 8:00-16:30 【休】4/25～11/15まで無休
【TEL】0176-74-2277

十和田湖を歩こう

十和田湖は、ゆったりとした時間を過ごすことができる場所です。
パワースポットでもある十和田神社へお参りをして、湖畔沿いの遊歩道を散歩したり。
ベンチに座ってのんびりしたり、喫茶店で夕日を眺めたり…。
船の上から湖畔を眺め、山々のさわやかな風に吹かれながら、のどかな時間の流れを感じてみては?

旅の情報収集

十和田湖総合案内所

十和田湖温泉郷バス停下車、徒歩すぐ

JRバス十和田湖駅隣接。十和田湖観光に役立つパンフレットなどが置かれていて、観光相談にも応じてくれます。また、ロッカー (300円)もあるので、気軽に立ち寄ってみて。
【時間】青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 【TEL】0176-75-2425
【時間】8:00-17:00 【休】年中無休
【時間】駐車場あり



十和田湖について
十和田八幡平国立公園の北の中心にあたる十和田湖は、周囲約44km、最大水深327mで、青森・秋田の県境にあります。火山の噴火口にできた二重式カルデラ湖で、周囲を外輪山である崖に囲まれています。

子ノ口
十二支で方向を表す子(北)の方角にあたり、十和田湖から流れる『奥入瀬溪流』の出口となっていることから、子ノ口と名付けられたそうです。

1

十和田神社

大同2年(807年)に坂上田村麻呂が、蝦夷討伐の必勝を祈願し日本武尊(ヤマトタケルノミコト)を祀ったと伝えられる古いお社です。江戸時代から恐山と並ぶ二大霊場として知られています。また、鎌倉時代以前から山伏の修行場で、伝説の行者、南祖坊にまつわる神社としても有名です。



十和田神社「占場」とは?

中山半島の反対側、中湖に面して「占場」として古くから伝わる場所があります。伝説の行者、南祖坊が入定した霊地とされており、スピリチュアル・パワースポットと呼ばれています。およりを湖に落としてそのまま沈めば願いが叶うと伝えられています。

十和田湖遊覧船～船上祈願～
占い方
①およりは十和田神社の社務所で宮司に祈禱していただいたもの。
②日付、名前、願い事を記す。
③およりを船上から、湖上に浮かべます。そして神社に向かってお参りを。
④紙でできたおよりが、きれいに溶けてくれば願い事が叶うという。
POINT | 階デッキから落としましょう。

5

湖畔沿いを散歩

湖畔沿いは眺めもよく気持ち良く散歩ができます。



ボートもあります。「アヒル」と呼ばないで。私は白鳥です。」



小腹がすいたら、十和田湖C級グルメ「おとめ餅(みそ味)」



歩き疲れたらゆらゆらベンチで休憩。



TRIP

2

乙女の像

御前ヶ浜にたたずむ一対のブロンズ裸婦像は、詩人て彫刻家である高村光太郎の晩年の傑作です。



photo 小山田 邦哉

3

田子屋酒店

十和田湖バス停から徒歩約5分



昭和24年から現在に至るまで変わらないレトロなたたずまいのお店。こだわりの地酒にお店オリジナルの3種の「りんごビール」、デッドストックの懐かしいお土産品にバザーのような生活道具もある、独創的なお店。掘り出し物に出会えるかも!

【住所】青森県十和田市大字十和田湖畔休屋486 【TEL】0176-75-2519 【時間】平日10:00-19:00、土日祝日8:00-21:00※10月から7:00-21:00 【休】年中無休 【備考】駐車場あり

4

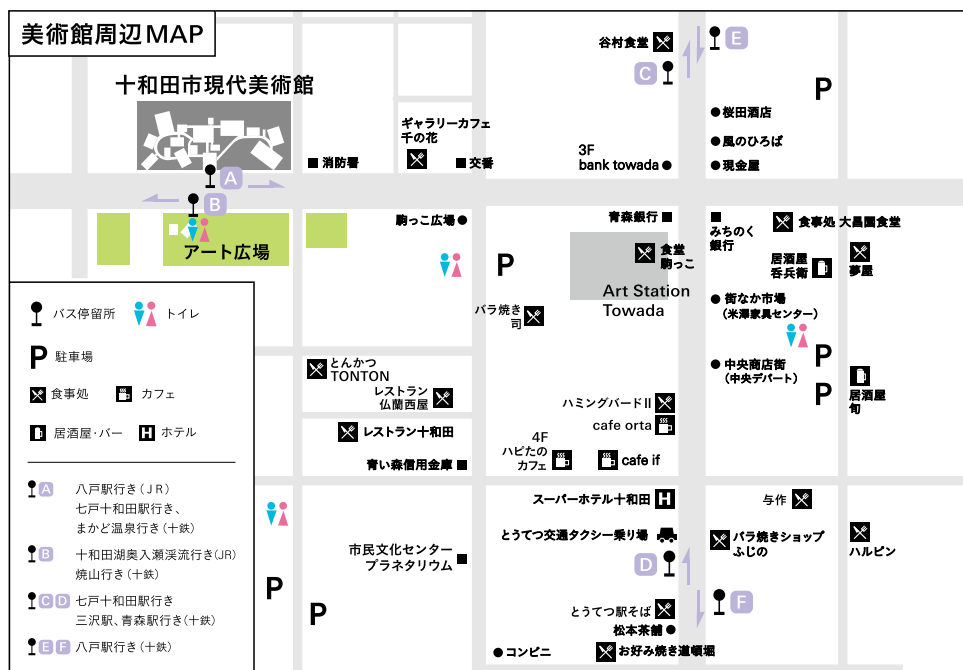
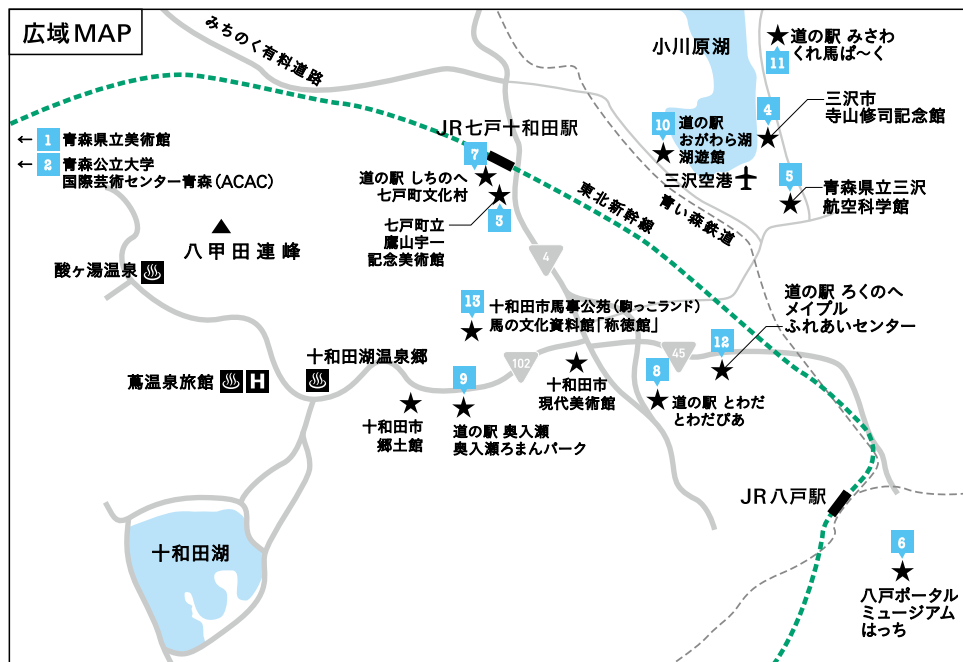
十和田湖 マリン・ブルー

十和田湖バス停下車、徒歩約7分



青森産のりんごを使ったホテルメイドの「手作りアップルパイ」500円は、シナモンを使っていない素朴な味。原液100%の「山葡萄ジュース」650円もこの地方ならではのメニューです。晴れた日には、湖畔に面したオープンテラスを利用してみては? ついつい長居してしまいそう。

【住所】秋田県鹿角郡小坂町休平 【TEL】0176-75-3025 【時間】8:00-18:00 【休】11月中旬～4月上旬 【備考】駐車場あり



アクセス

〈バスご利用の場合〉

十和田市現代美術館から、十和田湖温泉郷・焼山へ

JRバス東北「おいらせ号」 約50分

十和田市現代美術館→十和田湖温泉郷・焼山

十和田観光電鉄バス・路線バス 約50分

十和田市現代美術館→十和田湖温泉郷・焼山・溪流館前

十和田市現代美術館から、十和田湖へ

JRバス東北「おいらせ号」 約2時間15分

十和田市現代美術館→(焼山、奥入瀬渓流、子ノ口経由)

→JRバス十和田湖駅(休屋)

十和田湖温泉郷・焼山から、十和田湖へ

JRバス東北「おいらせ号」「みずうみ号」 約50分

十和田湖温泉郷・焼山→JRバス十和田湖駅(休屋)

〈お車ご利用の場合〉

十和田市→奥入瀬 約40分

十和田市→(焼山、奥入瀬渓流、子ノ口経由)

→十和田湖畔(休屋) 約1時間15分

焼山・十和田湖温泉郷→(奥入瀬渓流、子ノ口経由)

→十和田湖畔(休屋) 約45分

十和田IC→(大湯、発荷峠)→十和田湖畔(休屋) 約50分

小坂IC→(樹海ライン、発荷峠)→十和田湖畔(休屋) 約40分

黒石IC→(湯湯温泉、滝の沢峠)→十和田湖畔(休屋) 約1時間30分

近隣の主な観光施設

- 1 青森県立美術館 TEL 017-783-3000
- 2 青森県立大学 国際芸術センター青森 (ACAC) TEL 017-764-5200
- 3 七戸町立鷹山宇一記念美術館 TEL 0176-62-5858
- 4 三沢市寺山修司記念館 TEL 0176-59-3434
- 5 青森県立三沢航空科学館 TEL 0176-50-7777
- 6 八戸ポータルミュージアムはっち TEL 0178-22-8228
- 7 道の駅しちのへ 七戸町文化村 TEL 0176-62-5777
- 8 道の駅とわだ とわだびあ TEL 0176-28-3790
- 9 道の駅奥入瀬 奥入瀬ろまんパーク TEL 0176-72-3201
- 10 道の駅おがわら湖 湖遊館 TEL 0176-58-1122
- 11 道の駅みさわ くれ馬ば〜く TEL 0176-59-2711
- 12 道の駅ろくのへ メイプルふれあいセンター TEL 0176-55-4134
- 13 十和田市馬事公苑 (駒こランド) 馬の文化資料館「称徳館」 TEL 0176-26-2100

お問い合わせ先

十和田市現代美術館 青森県十和田市西二番町10-9

TEL 0176-20-1127 info@towadaartcenter.com

http://towadaartcenter.com/

http://www.facebook.com/artstowada

発行:十和田市現代美術館 コンシェルジュ

アートディレクション&デザイン:加藤賢策(LABORATORIES.)

常設展示作家シリーズ②

アートを通して自然をみる



©Mami Iwasaki

常設展示作品「松 其ノ三十二」の作者の山本修路さんにお話を伺いました。

—常設展示作品はどのような経緯で制作されたのですか？—

大学時代から作品を発表していたのですが、卒業後一年経たないうちにコミッション・ワークの話をしていただきました。室内に展示する主要なアーティストが決まり、展示室と展示室の間にある特徴的な中庭を生かせるアーティスト、そして十和田に縁の深い植物をモチーフにした作品を制作しているアーティストを探していたと聞いています。十和田も東北も知らなかったの、声をかけられたときはびっくりしました。ディスカッションを重ねる中で、今まで自分が持っている美術館のイメージとは違っているなど思いました。どんな美術館ができるのか楽しみでした。その頃は、主に松をモチーフとして取り扱っていて、単純に松の生理的な動きが面白いと考えていました。松は環境の影響を受けて樹形を変える植物なので、美術館の作品は自分で好きなように自然環境の物語を作りました。崖の上で芽吹き、ある程度育ったけれど、風に晒されるために伸びることができず、折れて朽ちて下枝だけ残ったという、そんな物語です。物語を具現化するために、その場所にあった形や空間を選んでいき、「松 其ノ三十二」が生まれました。

—山本修路さんは「酒プロジェクト」をはじめ、十和田のまちの人との繋がりがとても強いんですね。

そうですね。でも7年前に初めて来た時は全く何もありませんでした。つながりを持てたきっかけは2年前に自主滞在で十和田を訪れた時です。ちょうど秋祭りの山車づくりの時期で、ある町内会の方に「ちょっと見てくれないか？」と誘われたのがきっかけです。2週間ぐらい毎晩行ってひたすら山車をつくっていました。すると町内会の人たちも、「修路は、毎日来るし、ちゃんとつくし、酒も飲むし、飯も食う」と。あっという間に打ち解けて仲良くなりました。それで7kg太りました(笑)。まちの感じや地形、気質が肌にあってたというか、自分の考えていることにあったのかもかもしれません。

—十和田奥入瀬芸術祭にも参加されていますが、どのような試みをされているのですか？

奥入瀬渓流や十和田湖を舞台にして、風景をあらためてみつめるきっかけとなるような作品をつくりたいと考えています。美術館の屋上から八甲田の方向を見ると雄大な景色が見える。あの美しい森の辺りはどのようになっているのだろうか。そういうシンプルな観点から作品が出發できるようになれば良いと思っています。今回の出品作品は、展示する場所を巡っていくことで、自然の物語を垣間見ることができます。

山本 修路(やまもと しゅうじ)



1979年東京生まれ。2005年多摩美術大学卒業。主な展覧会に「松景」(レントゲンヴェルケ、2005年)、「自宅から美術館へ:田中恒子コレクション展」(和歌山県立近代美術館、2009年)、「Forest of Seeding」(island MEDIUM、2012年)など。2012年からは十和田を中心に活動を広げ、地域とともに作品や日本酒をつくるプロジェクトやワークショップを行っている。十和田市現代美術館内にパブリックコレクションとして松をモチーフにした作品が設置されている。